



ダイハツ タント タント カスタム

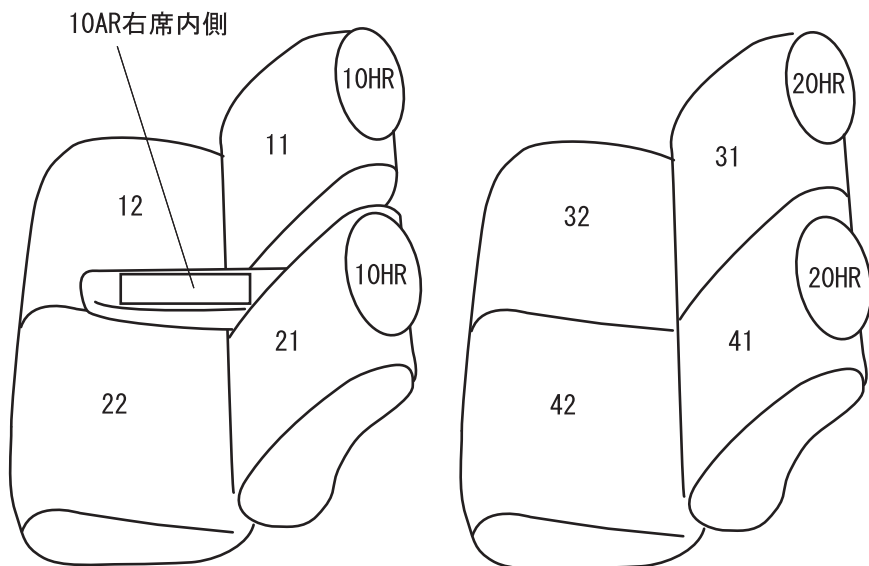
専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

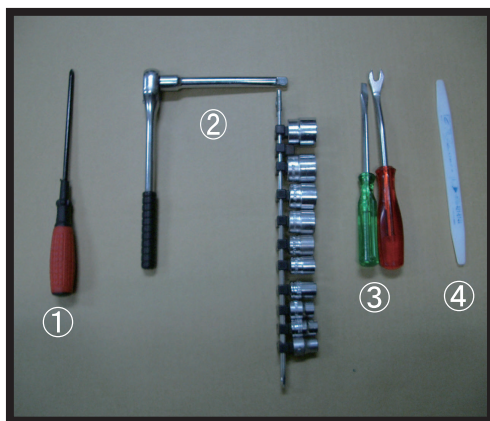
- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

6512/6513

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



工具名

- ① +ドライバー
- ② ソケットレンチセット
- ③ ドライバーまたは内張り外し
- ④ ヘラ（無くても可）

*この車種では、①と②の工具を使用します。

*この車種では、③の工具は使用しません。

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品交換もしくは修理対応させていただきます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地が硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかけられないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

コンビニフックについて

- ・一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておりません。
フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。
- ※フックがツメのみで固定されている場合、フック取り外しの際に破損させてしまう恐れがあります。また、フック取り付け部とシートとの隙間が狭すぎる場合、カバーの生地が挟み込めず、加工には適さない場合があります。

運転席座面

*シートリフター付きの車は先にシートリフターのレバーを外します



- ①レバーを外す前にシートを最大限まで上げた状態にしておきます。レバーに付いているプラスチックのフタをヘラ等を使い外します。(画像は別車種)



- ④最初に、背もたれ裏側から座面下に回り込んでいる生地をシート本体から外します。座面裏のゴムを外す前にコネクタを外します。



- ②プラスチックのフタを外すとネジが2本あるので、ドライバーを使い外します。



- ⑤座面裏のゴムにコードが通っているので、コネクタを外さないとゴムが外せません。



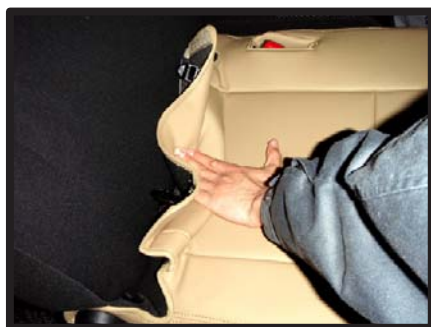
- ③レバーを外した状態です。シートリフター付き用カバーは、側面に穴あけ加工をしています。レバーの根元にその穴をしっかりと合わせ



- てカバーの取り付けを行って下さい。
⑥座面裏のゴムを金属バーから外します。
※ゴムを外した後、④で外したコネクタを接続して下さい。



⑦リクライニングレバーをかわしてマジックテープを留めます。



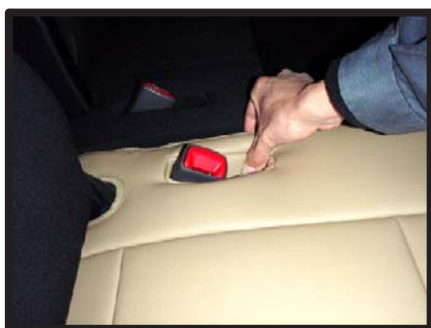
⑩背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行って下さい。



⑧シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑪入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑨シートベルトの穴とカバーの穴の位置を合わせて、生地を中に入れ込みます。

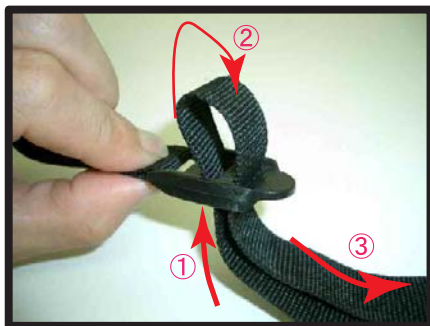


⑫シート本体とプラスチックカバーの間に生地を入れ込みます。

運転席座面(続き)



⑬カバー後ろ側にあるヒモを固定します。図のようにヒモの片側で輪を作ります。



⑭カバー前後にあるベルトは図の①から③の順に通し、③で通したベルトを引っ張る事で締まります。カバーの前後を締め込み固定します



⑮輪の中に反対側のヒモを通して引き絞ります。絞り込んでから座面後ろで固定します。



⑯カバー後ろにあるマジックテープに側面から後ろに回り込んでいる生地を固定します。



⑰カバー前部にあるベルト(2本)を座面下のスライドレバーの上を通して背面に引き出します。座面カバー後部のベルトと固定します。



⑱カバーのラインを整えて運転席座面の完成です。

運転席背もたれ ※ショッピングフックは使用できません。



注意

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、表紙から4枚目と5枚目の『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



①背もたれカバーを付ける前に、アームレストを取り外します。側面にある丸いプラスチックパーツを外します。



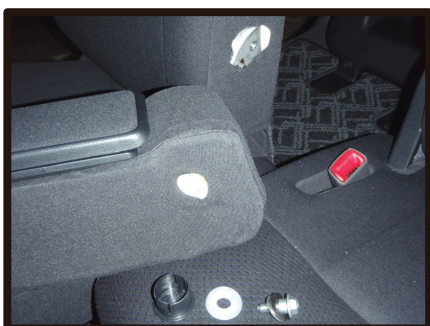
④ヘッドレストを外します。背もたれカバーを半分ほど裏返してシートにかぶせます。ヘッドレストの台座とカバーの穴位置を合わせ、肩口までしっかりかぶせます。



②固定用ボルトをラチェットレンチを使用して外します。



⑤背もたれ背面下の生地をカバーの中に入れ込みます。



③アームレストを外した状態です。



⑥折り返していた半分を左右均等に下まで引き下げます。

運転席背もたれ(続き)



⑦ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地伸びを利用して横からもぐりこまずように取り出して下さい。無理に入ると破れる恐れがありますのでご注意下さい。



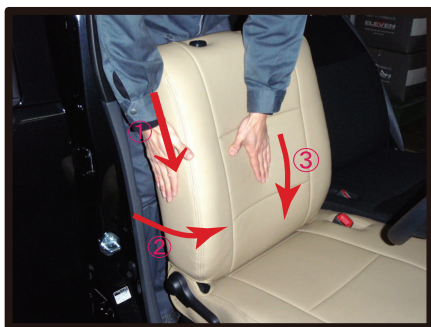
⑧ヘッドレストの台座部分を取り出した状態です。取り出しにくい場合はボタンの付いている側から取り出して下さい。



⑨背もたれ前面の生地を背もたれと座面の隙間に入れ込みます。



⑩入れ込んだ生地を背もたれ背面から引き出します。



⑪矢印の①～③の順にカバーをシートに馴染ませ、形を整えます。



⑫⑩で引き出した生地と背もたれ背面の生地をマジックテープで固定します。



注意

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります。危険です。

助手席座面



⑬カバー背面下に付いているゴムと生地を座面裏側の金属バーに固定します。



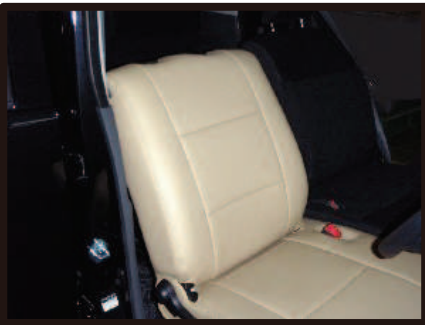
①シートにカバーをかぶせて、シートベルトの穴とカバーの穴の位置を合わせます。
穴の中に生地を入れ込みます。



⑭座面カバーに付いている背もたれ付け根の生地を、背もたれカバーの中に入れ込みます。



②シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑮サイドエアバッグ装備車は、サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。
カバーのラインを整えて運転席背もたれの完成です。



③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます

助手席座面(続き)



④ 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑦ 側面外側を取り付けた状態です。



⑤ シート側面シートベルト部分の生地をプラスチックカバーの間に入れ込みます。



⑧ 側面内側下のマジックテープでシート本体に固定します。



⑥ シート本体とプラスチックカバーの間に生地を入れ込みます。



⑨ 内側後ろの生地をシート本体にかぶせてマジックテープで固定します。

助手席背もたれ

⚠ 注意 ⚠

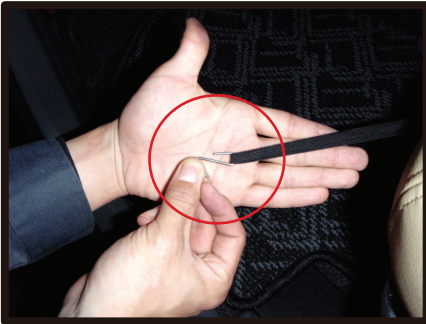
サイドエアバッグ装着車の装着方法は表紙から4枚目と5枚目の『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し正確にシートカバーを取り付けてください。



⑩④で引き出した生地をプラスチックの間に入れ込みます。
ヘラ等を使用すると微調整が出来ます。



①カバーのファスナーを開いて肩口からかぶせます。



①カバー前側に付いているゴムに、付属のS字フックを取り付けます。スライドレバーをかわして、座面裏の金属バーに引っかけて固定します。



②プラスチック部分の周りを取り囲むようにかぶせてから、ファスナーを閉めます。



⑫カバーのラインを整えて助手席座面の完成です。



— 8 — ③ファスナーを閉めた状態です。プラスチック部分に生地を入れ込みます。

助手席背もたれ(続き)



④ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。



⑦バックテーブルとシート本体の間に生地を入れ込みます。



⑤背もたれ前面の生地を背もたれと座面の間に入れ込みます。



⑧反対側も同様に入れ込みます。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、⑥⑦⑧の固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります、危険です。



⑥入れ込んだ生地を背もたれ背面から引き出します。
引き出した生地をマジックテープでシート本体に固定します。



⑨サイドエアバッグ装備車は、サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。
カバーのラインを整えて助手席背もたれの完成です。

2列目座面



①カバーを裏返してシートラインに合わせます。



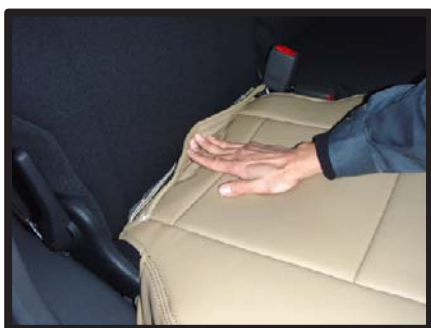
④入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



②ラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑤カバー後ろ側から出ているヒモを座面後ろに引き出します。引き出したヒモを座面後ろで固定します。片側のヒモで輪を作り、反対側のヒモを通し引き絞ります。



③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑥固定したヒモをチャイルドシート固定用フックの上に引っかけます。

2列目座面(続き)



⑦カバー後ろ側の生地とシート本体をマジックテープで固定します。



⑩カバー前側についているゴムに付属のS字フックを取り付けます。



⑧固定した状態です。



⑪ゴムをシートスライドレバーと座面の間を通して、座面裏の金属バーに固定します。



⑨カバー側面後ろ側の生地を、プラスチックパーツの中に入れ込みます。内側も同様に入れ込みます。



⑫カバーのラインを整えて2列目座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。

2列目背もたれ



- ①最初に、背面下の格納補助ベルトを外します。
ドライバーを使用してネジを外します。



- ②外した状態です。



- ④カバーを半分ほど裏返してシートにかぶせます。ヘッドレストの台座とカバーの穴位置を合わせ、肩口までしっかりかぶせます。



- ⑤折り返していた半方を左右均等に下まで引き下げます。この時、リクライニングレバーをかわしてかぶせます。



- ③カバー後ろのファスナーを開けておきます。



- ⑥ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。

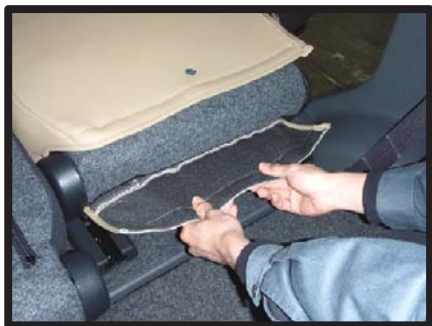
2列目背もたれ(続き)



⑦背もたれ前面の生地を背もたれと座面の隙間に入れ込みます。



⑩カバーとシートの穴位置を合わせた後、⑧で引き出した生地と背もたれ背面の生地をマジックテープで固定します。



⑧入れ込んだ生地を背もたれ背面から引き出します。



⑪①で外したベルトを、外した時と逆の手順で元に戻します。
生地が増えているため、パーツを押さえてネジで固定します。



⑨生地を内側に寄せながらファスナーを閉じます。



⑫カバーのラインを整えて2列目背もたれの完成です。
助手席側も同様に取り付けます。

アームレスト



①ボックスのフタを開け、中にあるネジをドライバーで取り外します。



④カバーを半分ほど折り返し、アームレスト本体にカバーをかぶせます。前側からラインを合わせ、しっかりかぶせます。



②ネジを外すとボックスが取り外せます。前側にずらしながら外します。



⑤折り返していた半部分を左右均等に後ろ側までかぶせます。



③ボックスの裏にフックが付いています。



⑥ボックスが入っていた穴に生地を入れ込みます。

アームレスト(続き)



⑦ボックス裏のフックをアームレスト本体の金具に引っかけた後、ボックス全体を戻します。



⑩フタの裏側にあるロック部分のプラスチックのネジをドライバーを使用し外します。



⑧生地をアームレスト本体とボックスの間に入れ込みます。
ヘラ等を使用すると微調整が出来ます。



⑪プラスチックパーツを外した状態です。



⑨①で外したネジを戻します。生地の厚みが増しているため、ボックスを押しさえながらネジを締めます。



⑫フタにカバーをかぶせます。
生地の伸びを利用して角から入れ込みます。



⑬カバーをかぶせた後、角からラインを整えます。



⑭アームレストを本体に戻します。
外した時と逆の手順で固定します。



⑮フタカバー内側の左右に付いているマジックテープを固定します。



⑯アームレスト後ろ側のファスナーを閉めます。



⑰⑩で外したプラスチックパーツを元に戻します。



⑱カバーのラインを整えてアームレストの完成です。

ヘッドレスト 1 列目

※ヘッドレストの説明に使用している画像は一部改良前のものです



①カバーの前後を確認してからかぶせます。平らなプラスチック部品が付いている方が前です。カバーを半分ほど折り返してから、かぶせて下さい。



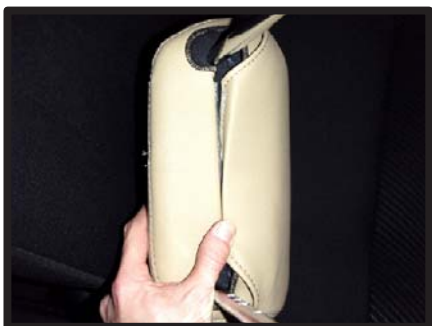
④平らなプラスチック部側を生地とともにフック部に入れ込みます。プラスチック部のみフックに入れ込んでもしっかり固定されませんのでご注意ください。(写真断面図)



②左右均等に下まで引き下げます。縫い目部分に力がかかりすぎると生地が破れる恐れがありますので、作業は慎重に行なって下さい。



⑤固定した状態です。



③ヘッドレストを背もたれから取り外して、底面のカバーをかぶせます。プラスチックフックで固定します。



⑥ヘッドレストを背もたれに取り付け完成です。

ヘッドレスト 2列目



- ⑦ヘッドレスト下部分よりカバーを入れ込んでいきます。
クッションを押しつぶしながら少しずつ、ヘッドレストに合わせます。



- ⑩1列目と同様に固定します。



- ⑧左右均等に後ろまでかぶせます。
縫い目部分に力がかかりすぎると生地が破れる恐れがありますので、作業は慎重に行なって下さい。



- ⑪ヘッドレストを背もたれに取り付け完成です。



- ⑨ヘッドレストを背もたれから取り外して、底面のカバーをかぶせます。
プラスチックフックで固定します。



After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかりと水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。

